






# 2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 数学科 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：新しい数学（東京書籍）

年間授業時数：140時間(定期考査4時間分を含む)

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	0章 算数から数学へ 整数の性質  	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことによるよさや素因数分解の意味を理解する。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数、素数、素因数分解の意味を理解する。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解する。</li> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現している。</li> </ul>
4 5 6	1章 数の世界をひろげよう  [正負の数]	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>正の数と負の数の必要性和意味を理解し、具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</li> <li>正の数と負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性を理解することができる。</li> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現し、正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>正の数と負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解する。</li> <li>正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解する。</li> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算をしたり、方法を考察し表現したりする。</li> <li>具体的な場面で正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現、処理をする。</li> <li>正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討する。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性について捉え直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。</li> <li>正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。</li> <li>正負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で正負の数をを用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。</li> <li>正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6 7	2章 数学のことばを身につけよう  [文字と式]	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味、文字を用いた式における積と商の表し方を理解することができる。</li> <li>具体的な場面と関連づけて、簡単な1次式の計算の方法を考察し表現したり、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。</li> <li>数量の関係や法則などを文字を用いた等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を理解する。</li> <li>文字を用いた式における積や商の表し方を知る。</li> <li>文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求める。</li> <li>具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現し、簡単な1次式の計算をする。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、その意味を読み取ったりする。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を理解している。</li> <li>文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。</li> <li>文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程</li> </ul>

			<p>式や不等式に表すことができることを理解し、文字式を用いて表したり、文字式を読み取ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることのよさに気づいて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<p>討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な1次式の計算をすることができる。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。</li> </ul>		<p>を振り返って検討しようとしている。</p>
8 9 10	<p>3章 未知の数の求め方を考えよう  [方程式]</p>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。</li> <li>等式の性質を基にして手際よく方程式を解くことができる。</li> <li>比例式を解くことができる。</li> <li>方程式、比例式を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>方程式のよさに気づいて粘り強く考え、方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を理解する。</li> <li>方程式の解や等式の性質を理解する。</li> <li>等式の性質の意味を理解し、等式の性質をもとに1次方程式を解く方法を考察し、表現したり、実際に1次方程式を等式の性質を用いて解く。</li> <li>等式の性質をもとに移項できる理由を考察したり、移項の考えを用いて方程式を解いたりする。</li> <li>簡単な1次方程式、比例式を解く。</li> <li>正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討する。</li> <li>具体的な場面や事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくり、問題を解決したり、解決の過程を振り返り検討し、解の吟味の意味と必要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を理解している。</li> <li>方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。</li> <li>等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。</li> <li>移項の考えを用いて方程式を解くことができる。</li> <li>簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。</li> <li>1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、解を吟味して解答とすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。</li> <li>方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

10 11	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう   [比例と反比例]	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解することができる。</li> <li>比例, 反比例について, 表, 式, グラフに表し, 変化や対応の特徴を見出したり, 比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> <li>比例, 反比例のよさに気づいて粘り強く考え, 比例, 反比例について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり, 比例, 反比例を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解する。</li> <li>比例について理解し, 表, 式, グラフなどに表す。</li> <li>反比例について理解し, 表, 式, グラフなどに表す。</li> <li>比例, 反比例として捉えられる2つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだす。</li> <li>比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現しながら問題解決をしたり, 問題解決の過程を振り返って検討したりする。</li> <li>ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解している。</li> <li>比例, 反比例について理解している。</li> <li>比例, 反比例を表, 式, グラフなどに表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例, 反比例として捉えられる2つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。</li> <li>比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味や比例, 反比例について考えようとしている。</li> <li>比例, 反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>比例, 反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
11 12 1	5章 平面図形の見方をひろげよう   [平面図形]	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行移動, 対称移動及び回転移動について理解することができる。</li> <li>角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を, 図形の性質に着目しながら, 考察, 表現することができる。</li> <li>図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気づいて粘り強く考え, 平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり, 作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> <li>おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解する。</li> <li>平行移動, 対称移動及び回転移動について理解する。</li> <li>図形の移動に着目し, 2つの合同な図形の関係について考察し表現する。</li> <li>線対称な図形の性質をもとにして, 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を考察, 表現する。</li> <li>図形の移動や基本的な作図を活用して問題解決をしたり, 問題解決の過程を振り返って検討したりする。</li> <li>おうぎ形の弧の長さや面積を求める。</li> <li>ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行移動, 対称移動及び回転移動について理解している。</li> <li>平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。</li> <li>角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解している。</li> <li>おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の移動に着目し, 2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。</li> <li>線対称な図形の性質をもとにして, 基本的な作図の方法を考察し表現することができる。</li> <li>図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
1 2	6章 立体の見方をひろげよう   [空間図形]	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。</li> <li>立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり, 立体を平面上に表現して, 平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。</li> <li>基本的立体の表面積と体積の求め方を考察し表現したり, それらの表面積と体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものであることを知る。</li> <li>空間における直線や平面の位置関係を理解する。</li> <li>立体図形の展開図や投影図について理解し, 平面上の表現から空間図形の性質を見出す。</li> <li>柱体や錐体, 球の表面積と体積を求める。</li> <li>ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間における直線や平面の位置関係を理解している。</li> <li>立体図形の展開図や投影図について理解している。</li> <li>柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。</li> <li>空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。</li> <li>立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形の性質や関係を捉えることよきに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>				
2 3	7章 データを活用して判断しよう  [データの分析と活用]	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数、累積度数、累積相対度数などの必要性和意味を理解することができる。</li> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータをコンピュータなどの情報手段を用いるなどして表やグラフに整理し、分布の傾向を読み取ったり、批判的に考察し判断したりする。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。</li> <li>ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりすることができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかそうしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数、累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解する。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えたりする。</li> <li>代表値や範囲の必要性和意味を理解する。</li> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータをコンピュータなどの情報手段を用いるなどして表やグラフに整理し、分布の傾向を読み取ったり、批判的に考察し判断したりする。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考える。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現する。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。</li> <li>累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解している。</li> <li>代表値や範囲の必要性和意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。</li> </ul>

月		単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準	
						知識・技能	思考・判断・表現
4 5		1章 式の計算 多項式の計算 単項式の乗法と除法 式による説明 等式の変形 <input checked="" type="checkbox"/>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの問題を，具体的な数の計算をもとに考え，文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。</li> <li>単項式と多項式，次数の意味を理解する。</li> <li>同類項の意味を理解し，同類項をまとめる計算や，多項式の加法や減法の計算ができる。</li> <li>多項式と数の乗法や除法の計算ができる。</li> <li>単項式どうしの乗法や除法，それが混じった式の計算ができる。</li> <li>式の値をくふうして求めることができる。</li> <li>数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。</li> <li>目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し，ある文字について解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式，次数の意味を知る。</li> <li>同類項の意味を知り，同類項をまとめる計算や多項式の加法や減法の計算をする。</li> <li>多項式と数の乗法や除法の計算をする。</li> <li>単項式どうしの乗法や除法，それが混じった式の計算をする。</li> <li>式の値をくふうして求める方法を考え，その方法で式の値を求める。</li> <li>数の性質が成り立つことを，文字を使って説明する。</li> <li>等式を変形して，ある文字について解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。</li> <li>具体的な事象の中の数量の関係を，文字を使った式で表したり，式の意味を読み取ったりすることができる。</li> <li>文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。</li> <li>目的に応じて，簡単な式を変形することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて，整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>
5 6		2章 連立方程式 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 いろいろな連立方程式 連立方程式の利用 <input checked="" type="checkbox"/>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式とその解の意味，連立方程式とその解の意味を理解する。</li> <li>加減法，代入法を理解し，それを用いて連立方程式を解くことができる。</li> <li>連立方程式を適当な方法で解くことができる。</li> <li>かっこや係数に小数や分数をふくむ連立方程式，<math>A=B=C</math>の形をした連立方程式を解くことができる。</li> <li>具体的な問題を，連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。</li> <li>具体的な問題を，連立方程式を利用して解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式と連立方程式のその解の意味を知る。</li> <li>連立方程式を加減法，代入法で解く。</li> <li>連立方程式を適当な方法で解く。</li> <li>かっこや係数に小数や分数をふくむ連立方程式，<math>A=B=C</math>の形をした連立方程式を解く。</li> <li>連立方程式を利用して問題を解決するときの手順を確認する。</li> <li>具体的な問題を，連立方程式を利用して解決する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式とその解の意味を理解している。</li> <li>連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1元1次方程式と関連付けて，連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>
7 8 9		3章 1次関数 1次関数 1次関数の値の変化 1次関数のグラフ 連立方程式とグラフ 1次関数とみなすこと 1次関数のグラフの利用 1次関数と図形 <input checked="" type="checkbox"/> ICT	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の意味を理解し，<math>y=ax+b</math>の式に表すことができる。</li> <li>1次関数<math>y=ax+b</math>では，変化の割合は一定で，<math>a</math>に等しいことを理解する。</li> <li>1次関数<math>y=ax+b</math>のグラフの増減と特徴を理解する。</li> <li>1次関数のグラフを，切片と傾きをもとにかくことができる。</li> <li>1次関数の表，式，グラフの関係について理解する。</li> <li>1次関数の式を求めることができる。</li> <li>2元1次方程式のグラフは，その解を座標とする点の集合で，式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。</li> <li>2元1次方程式のグラフをかくことができる。</li> <li>連立方程式の解が，2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し，連立方程式の解を，グラフをかいて求めたり，2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。</li> <li>具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして，問題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の意味を理解し，<math>y=ax+b</math>の式に表す。</li> <li>1次関数<math>y=ax+b</math>では，変化の割合は一定で，<math>a</math>に等しいことを知る。</li> <li>1次関数<math>y=ax+b</math>のグラフの増減と特徴を知る。</li> <li>1次関数のグラフを，切片と傾きをもとにかく。</li> <li>1次関数の表，式，グラフの関係についてまとめる。</li> <li>1次関数の式を求める。</li> <li>2元1次方程式のグラフは，式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを知る。</li> <li>2元1次方程式のグラフをかく。</li> <li>連立方程式の解と2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標の関係を理解し，連立方程式の解をグラフをかいて求めたり，2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりする。</li> <li>具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして，問題を解決す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数について理解している。</li> <li>事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>2元1次方程式を，関数を表す式とみることができる。</li> <li>1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。</li> <li>1次関数の関係を表，式，グラフを用いて表現したり，処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数として捉えられる2つの数量について，変化や対応の特徴を見だし，表，式，グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>







9 10 11	4章 平行と合同 多角形の角の和の説明 平行線と角 合同な図形の性質と表し方 三角形の合同条件 証明のすすめ方 ㊦ ICT	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の内角と外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。</li> <li>対頂角，同位角，錯角の意味を理解する。</li> <li>対頂角は等しいこと，平行線と同位角，錯角の関係を，論理的に筋道を立てて説明することができる。</li> <li>三角形の内角と外角の性質を，論理的に筋道を立てて説明することができる。</li> <li>三角形の内角，外角の性質や多角形の内角の和，外角の和の性質を利用して，角の大きさを求めることができる。</li> <li>平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え，図にかき加えた線や，根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。</li> <li>平面図形の合同の意味と表し方を知り，合同な図形の性質を理解する。</li> <li>三角形の合同条件を理解する。</li> <li>2つの三角形が合同かどうかを，三角形の合同条件を使って判断することができる。</li> <li>ことがらの仮定と結論の意味を確認する。</li> <li>証明の書き方を理解する。</li> <li>根拠となることがらを明らかにして，簡単な図形の性質を証明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の内角と外角の和の求め方を，もとにしていることがらを明らかにして説明する。</li> <li>対頂角，同位角，錯角の意味を理解する。</li> <li>対頂角は等しいこと，平行線と同位角，錯角の関係を，論理的に筋道を立てて説明する。</li> <li>三角形の内角と外角の性質を，論理的に筋道を立てて説明する。</li> <li>三角形の内角，外角の性質や多角形の内角の和，外角の和の性質を利用して，角の大きさを求める。</li> <li>平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え，図にかき加えた線や，根拠となる図形の性質を明らかにして説明する。</li> <li>平面図形の合同の意味と表し方を知り，合同な図形の性質を確認する。</li> <li>三角形の合同条件を確認する。</li> <li>2つの三角形が合同かどうかを，三角形の合同条件を使って判断する。</li> <li>ことがらの仮定と結論の意味を知る。</li> <li>証明の書き方を確認する。</li> <li>根拠となることがらを明らかにして，簡単な図形の性質を証明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。</li> <li>平行線や角の性質を理解している。</li> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な平面図形の性質を見だし，平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認し，説明することができる。</li> </ul>
12 1 2	5章 三角形と四角形 二等辺三角形の性質 二等辺三角形になるための条件 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積 ㊦ ICT	2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形や正三角形の定義を確認し，性質を証明することができる。</li> <li>二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめ，二等辺三角形になるための条件を利用して，図形の性質を証明することができる。</li> <li>ことがらの逆と反例の意味を理解する。</li> <li>2つの直角三角形が合同かどうかを，直角三角形の合同条件を使って判断することができる。</li> <li>直角三角形の合同条件を利用して，図形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の定義と性質を確認し，性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の性質を利用して，図形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形になるための条件を証明し，その条件を利用して図形の性質を証明したり，その証明を振り返って統一的・発展的に考えることができる。</li> <li>長方形，ひし形，正方形の定義を確認し，それらが平行四辺形であることや対角線の性質を証明することができる。</li> <li>平行線の性質を利用して，図形を等積変形することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形や正三角形の定義を確認し，性質を証明する。</li> <li>二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめ，二等辺三角形になるための条件を利用して，図形の性質を証明する。</li> <li>ことがらの逆と反例の意味を知る。</li> <li>2つの直角三角形が合同かどうかを，直角三角形の合同条件を使って判断する。</li> <li>直角三角形の合同条件を利用して，図形の性質を証明する。</li> <li>平行四辺形の定義と性質を確認し，性質を証明する。</li> <li>平行四辺形の性質を利用して，図形の性質を証明する。</li> <li>平行四辺形になるための条件を証明し，その条件を利用して図形の性質を証明したり，その証明を振り返って統一的・発展的に考えたりする。</li> <li>長方形，ひし形，正方形の定義を確認し，それらが平行四辺形であることや対角線の性質を証明する。</li> <li>平行線の性質を利用して，図形を等積変形する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> <li>定義やことがらの仮定と結論，逆の意味を理解している。</li> <li>反例の意味を理解している。</li> <li>正方形，ひし形，長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>証明を読んで新たな性質を見だし，表現することができる。</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し，表現することができる。</li> <li>ことがらが正しくないことを証明するために，反例をあげることができる。</li> </ul>
2 3	6章 確率 同様に確からしいこと いろいろな確率	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解する。</li> <li>起こりうる場合を，樹形図や表を使って全部あげたり，起こりうる場合の組み合わせを考えたりして</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を知る。</li> <li>起こりうる場合を，樹形図や表を使っ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに着目し，場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。</li> </ul>

		<p>確率による説明</p> <p>ア ICT</p>		<p>確率を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。</li> <li>・身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。</li> </ul>	<p>て全部あげたり、起こりうる場合の組み合わせを考えたりして確率を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求める。</li> <li>・身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合について確率を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。</li> </ul>	
3		<p>7章 データの比較</p> <p>四分位範囲と箱ひげ図</p> <p>ア ICT</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。</li> <li>・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表す。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を知る。</li> <li>・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを整理し、箱ひげ図に表す方法を</li> <li>知る。</li> <li>・四分位範囲の意味を知る。</li> <li>データを整理し、箱ひげ図に表す。</li> <li>・ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて、箱ひげ図からデータの分布の傾向や特徴を読みとる方法を考える。</li> <li>・箱ひげ図とヒストグラムの対応について知る。</li> <li>・箱ひげ図を用いて、データの傾向を調べる。</li> <li>・データの傾向を読みとり、批判的に考察し判断する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。</li> <li>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> </ul>	

# 2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 数学科 3年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：新しい数学（東京書籍） 年間授業時数：140時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	1 多項式 <input type="checkbox"/>	1 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法や多項式を単項式で割る除法の計算ができるようになる。</li> <li>簡単な1次式の乗法や公式を用いる展開、因数分解をできるようにするとともに展開や因数分解の方法を考察したり、目的に応じて式を変形して、その意味を読み取ったりすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をする。</li> <li>簡単な1次式の乗法の計算及び乗法公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をする。</li> <li>文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。</li> <li>簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	2 平方根 <input type="checkbox"/>	1 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>正の数の平方根について必要性や計算の方法を理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性と意味を理解する。</li> <li>数の平方根を含む簡単な式の計算をする。</li> <li>具体的な場面で数の平方根を用いて表現したり処理したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性と意味を理解している。</li> <li>有理数、無理数の意味を理解している。</li> <li>数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに学んだ文字式の計算などに関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
7 8 9	3 2次方程式 <input type="checkbox"/>	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の必要性と意味及び解の意味を理解する。</li> <li>因数便解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解く。</li> <li>解の公式を知り、それを用いて2次方程式を解く。</li> <li>2次方程式を具体的な場面で活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>平方の形に変形し2次方程式を解くことができる</li> <li>解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。</li> <li>因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

	<p>5 相似な図形  </p>	<p>2 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばし、相似な図形の性質を用いて考察できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解する。</li> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめる。</li> <li>平行線と線分の比のついての性質を見だし、それらを確かめる。</li> <li>基本的な立体の相似の意味、相似比と面積比及び体積比の関係について理解する。</li> <li>ICTの活用</li> </ul>	<p>くることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</li> <li>相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。</li> <li>基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。</li> <li>誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を<math>a \times 10^n</math>の形に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</li> <li>相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。</li> <li>図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
<p>10 11</p>	<p>4 関数<math>y = ax^2</math>  </p>	<p>1 7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数<math>y = ax^2</math>について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の中には関数<math>y = ax^2</math>としてとらえられるものがあることを知る。</li> <li>関数<math>y = ax^2</math>について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解する。</li> <li>関数<math>y = ax^2</math>を用いて具体的な事象をとらえ説明する。</li> <li>いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math>について理解している。</li> <li>事象の中には関数<math>y = ax^2</math>としてとらえられるものがあることを知っている。</li> <li>関数<math>y = ax^2</math>を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</li> <li>いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math>として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math>を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y = ax^2</math>の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>関数<math>y = ax^2</math>について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>関数<math>y = ax^2</math>を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	<p>6 円  </p>	<p>1 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察、操作や実験などの活動を通して、円周角と中心角の関係を見だして理解し、それを用いて考察することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。</li> <li>円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係を見いだすことができる。</li> <li>円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。</li> <li>円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

12 1	8 標本調査 <input type="checkbox"/> ICT  7 三平方の定理 <input type="checkbox"/> ICT	6  1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを用いたりするなどして、母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解できるようにする。</li> <li>・観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見いだして理解し、それを用いて考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の必要性と意味を理解する。</li> <li>・簡単な場合について、必要に応じてコンピュータを用いながら標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明する。</li> <li>・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。</li> <li>・三平方の定理を具体的な場面で活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の必要性と意味を理解している。</li> <li>・コンピュータなど用いて、無作為に標本を取り出し、整理することができる。</li> <li>・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>・三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>・三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。</li> <li>・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定することができる。</li> <li>・三平方の定理を見いだすことができる。</li> <li>・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> <li>・三平方の定理を見いだそうとしている。</li> <li>・三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
2 3	総合演習	2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の学習活動を振り返り、単元を超えて複合的に考察、活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な総合演習に取り組み、あらゆる単元が相互に有益であることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算法、作図方法を知り、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事象について考察して表現、活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の学習活動を振り返り、問題を解決しようとしている。</li> </ul>